


ベンケイソウ	<i>Hylotelephium erythrostictum</i> (Miq.) H.Ohba	絶滅危惧 I 類
		ベンケイソウ科
選定理由	花が美しく園芸目的に採取されることがあるため保護を要する。	写真(清水英彦) 
形態の特徴	花茎は高さ30-100cmになり直立する。葉は多肉で楕円状卵形～楕円形、互生または対生し低い鋸歯があり、基部は鋭形で短い柄がある。花序は散房状で半球形、花弁は紅色。雄ずいは長さ約5mmで花弁とほぼ同長。	
生態的特徴	ベンケイソウ科の多年草。草原や明るい林床に生える。花期は9-10月。枝切りをして挿し木にできることや、引き抜いて放置した後も根から発根するなど、乾燥に強い。	
分布状況	日本では、本州中北部から九州に分布、中国大陸にも分布する。岐阜県では、県南西部で1ヶ所確認されている。	
減少要因	園芸植物として採取される。農業従事者の減少による里山の草地も減少、大規模な土地の改変など。	
保全対策	詳細な分布情報を公表するには配慮が必要である。草地環境の維持など。	
特記事項		
参考文献	原色日本植物図鑑・草本編Ⅱ 保育社 1961 日本の野生植物草本Ⅱ 離弁花類 平凡社 1982 レッドデータブックあいち植物編 愛知県 2009	

文責:福岡義洋